

キーワード	Y4	ソフト・システム	Z4	電力	S7	次世代交通システム
					E29	電気機械器具製造業

— 東芝デジタルソリューションズ株式会社

## 輸送計画 ICT ソリューション TrueLine<sup>®</sup>

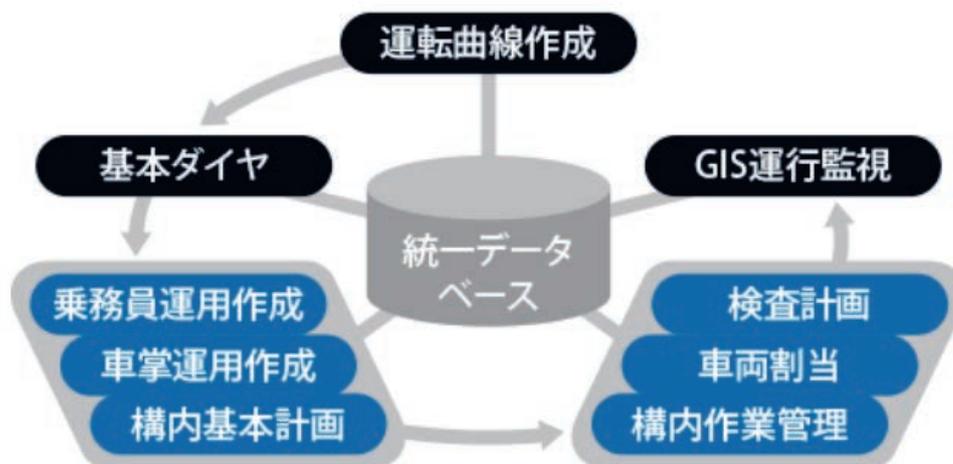
### 特徴

複雑な輸送計画を簡単な操作で作成できるクラウドサービス (TrueLine<sup>®</sup>) で、必要な機能を組み合わせて短期間で安価に導入できる。また、車両エネルギー情報を分析して省エネ運転を検討することも可能。

### 概要 or 原理

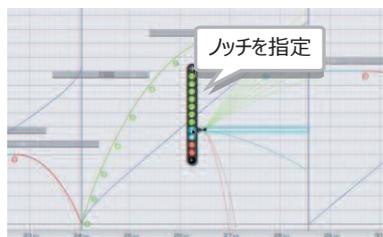
世界の鉄道／軌道／新交通／バス事業者様の輸送計画を効率化する、短期間・安価で導入可能なクラウドサービス。業務ごと、部署ごとに分断されていたデータを一元管理し、シームレスな業務間連携を実現できる。また、世界標準の輸送計画手法で新設計され、31ヶ国語に対応したグローバルシステム。良質な輸送計画検討業務を支援する。

輸送計画の基本機能を一つのパッケージにした



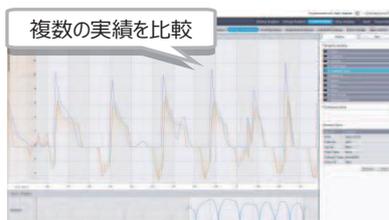
## 省エネ効果 & 特記事項

- ◆ 列車走行をシミュレーションすることで、消費エネルギーを評価  
エネルギー消費など付随情報も算出可能で、運転曲線を作成するだけでなく、消費エネルギーの観点で複数案の検討が可能
  - ・ 加速ノッチやブレーキを手動設定して、運転操作による消費エネルギーを表示
  - ・ 作成した運転操作ごとの消費エネルギーを比較表示し評価
  - ・ 使用するモータやブレーキを取り換えて、機材変更による消費エネルギーをシミュレーション



運転曲線作成画面

- ◆ 車両からのエネルギー情報を統計分析、省エネ運転方法を検討可能  
車両から得られる各種 IoT データを統計処理し、現実の運転と消費エネルギーの関係を導きだせる
  - ・ 駅間ごとの運転時間と消費エネルギーの実績から、最も省エネな運転時間目標を発見
  - ・ 運転士ごとの運転の特徴を統計処理し、運転操作の弱点を検出



車両データ解析画面

- ◆ 鉄道の全体の輸送計画からエネルギーをシミュレーション、ダイヤグラムに適用  
運転曲線によるシミュレーション結果や現実の IoT データから得られる特性を運行ダイヤグラムに適用可能
  - ・ 鉄道全体のエネルギー量、変電所ごとのエネルギーを予測
  - ・ タイムテーブルを変更することで、エネルギー消費の平準化検討が可能



ダイヤグラム作成画面

## 導入実績または予定

国内 鉄道会社等に導入実績あり

海外 31ヶ国語に対応

コンタクト先	東芝デジタルソリューションズ株式会社 ICTソリューション事業部 電話番号：044-331-1295 URL: <a href="http://www.toshiba.co.jp/cl/industry/trueline/index_j.htm">http://www.toshiba.co.jp/cl/industry/trueline/index_j.htm</a>
--------	--